

## 【授業科目】慢性看護学演習Ⅱ(支援技術)

## Advanced Seminar of Chronic Illness Nursing II

担当教員		開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
杉崎 一美		1年次後期	選択	2	60	演習	巻末掲載
授業概要 (内容と進め方)及び課題に対するフィードバック方法	慢性的な健康問題をもつ患者の疾患に関する研究論文を検索し、慢性領域における患者・家族が抱える問題・課題や、看護実践の場における問題・課題を明確にし、看護実践方法を探求する。 課題に対するフィードバック方法/プレゼンテーションについては授業内でコメントする。また、提出されたレポートについてはコメントをつけて返却する。						
授業の位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー③、④の達成に寄与している。						
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	① 慢性的な健康問題をもつ患者の疾患・治療・検査について研究論文を検索し、説明することができる。 ② 慢性的な健康問題をもつ患者・家族が抱える問題について研究論文を検索し、明確にすることができる。 ③ 慢性的な健康問題をもつ患者・家族における倫理的課題が理解でき、対処方法を述べるすることができる。 ④ 他職種との連携・調整を促進するために必要な能力について説明できる。						
時間外学習に必要な内容・時間	事前学習は各回に関係する文献を読んでおく(2時間)。事後学習は学んだ理論・概念を用いて事例を展開し、学びを応用に結び付ける(2時間)。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合:予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合:予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合:予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。						
授業計画	第1回 慢性疾患の動向と現状 第2,3回 慢性疾患(糖尿病)をもつ患者と家族への看護 1,2 第4,5回 慢性疾患(腎臓病)をもつ患者と家族への看護 1,2 第6,7回 慢性疾患(心疾患)をもつ患者と家族への看護 1,2 第8,9回 慢性疾患(呼吸器疾患)をもつ患者と家族への看護 1,2 第10,11回 慢性疾患(脳血管疾患)をもつ患者と家族への看護 1,2 第12,13回 慢性疾患(がん疾患)をもつ患者と家族への看護 1,2 第14回 がん看護の動向と現状 第15,16回 化学療法における患者・家族への看護 第17,18回 放射線療法における患者・家族への看護 第19,20回 遺伝子治療における患者・家族への看護 第21,22回 ボディーイメージに関する看護援助 第23,24回 意思決定支援に関する課題と看護援助 第25,26回 就労支援に関する課題と看護援助 第27,28回 地域連携システムの現状と今後の課題 第29,30回 各自の研究課題との関連						全て杉崎
評価方法 評価基準	課題に対するプレゼンテーション、レポートなどによって総合的に評価する。						
教科書	教科書の指定はしない。 適宜、資料配付や文献を紹介する。			参考書等	適宜、講義内で紹介する。		